

謹賀新年

新山口北口駅前広場「0番線」



足掛け4年にわたって工事を続けてきた新山口駅「0番線」が今年3月にいよいよ完成します。現在、中央部のメインデッキ（グランドプラザ）の膜屋根工事や各種仕上工事が急ピッチで進んでいます。今後、舗装や植栽の工事が始まると、一気に新しい風景が広がることと思います。

ここ数年での駅前の変化に伴って、人の流れにも変化が生じ、当初意図していた「まちと駅をつなぐ」というコンセプトが少しずつ具現化しています。

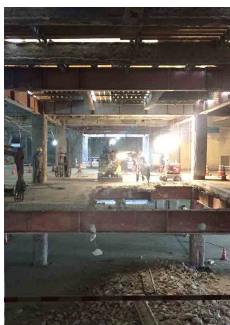
信濃美術館



昨年6月、設計プロポーザルにて県立信濃美術館の設計者に特定されました。林昌二氏設計の既存美術館の建替であり、隣接する谷口吉生氏設計の東山魁夷館や善光寺との関係など、設計にあたってのハードルは非常に高いですが、やりがいのあるプロジェクトです。10数回に渡るワークショップやフォーラム、文化庁との協議などを経て、昨年末に基本設計を完了し、今年の実設計に着手します。「ランドスケープ・ミュージアム」が大きなテーマであり、敷地である長野市の公園整備も並行して計画しています。次回善光寺御開帳にあわせ、2021年春竣工を目指し設計を進めています。

沼田市新庁舎等整備計画

沼田市庁舎（群馬県）の工事が着工しました。28,000㎡の大型商業施設を、大規模な減築によって庁舎や歴史資料館を含む複合施設として再生するプロジェクトで、現在、外壁の撤去や床への開口など大がかりな解体工事が進んでいます。今年からはいよいよ内外装工事が本格的に始まり、年内の竣工を目指して工事が進みます。



川場ルーフ



道の駅「川場田園プラザ」内に、川場ルーフと名付けられたシェルターが完成しました。近年、道の駅は、災害時の避難場所としても注目されていますが、このシェルターも災害対策の強化策の一環として計画されたものです。屋根だけが浮かんだように見えるように、最小限の部材で支持する構成としました。今年川場村ではSL動態保存シェルターが施工中です。3月完成予定です。

新群馬建設会館

群馬県前橋市で建設業協会の施設の建替プロジェクトが着工しました。建設業関連団体が入居し、講習などを通じて建築関係者も多く訪れる建物であることから、建設業全体のイメージアップを図ると共に、時代に流されない力強いデザインを意図しました。既存建物を利用しながらの工事となるため、一部解体→新棟建設→既存解体→外構工事と進み、年内の新棟完成を目指しています。

